

～まちが人を育て、人がまちをつくる～

逗子市議会議員

さぎさか ゆうじ 活動レポート Vol. 10

～無所属で活動中～



■さぎさか ゆうじ(句坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 43歳 逗子市沼間1-8-2

沼間小学校卒業・逗子中学校卒業・私立横浜商工高等学校卒業(有)句坂量店入社
07年逗子市商工会青年部部長・08,09年沼間小PTA会長、08年逗子市PTA連絡

協議会会長・神奈川県PTA協議会常任理事・10年(社)逗子葉山青年会議所理事長
家族構成: 妻と長女(中学2年)次女(小学2年)長男(保育園年長) 2010年3月に

行われた、市議会議員選挙にて初当選 議会報編集委員会委員長 現在、総務常任
委員会副委員長、基地対策特別委員会、議会運営委員会 所属会派 市政クラブ

平成25年 第1回定例会報告 一般会計予算及び4特別会計予算すべて可決

第1回定例会が2月22日～3月15日に行われました。今回の定例会では、25年度一般会計予算及び4特別会計予算が提出され、すべて可決承認されました。一般会計予算は194億8,686万円で前年比1.8%減、歳入予算では、歳入の根幹をなす市税収入が5年連続マイナス計上となる厳しい財政状況の下、公共施設の再整備が集中するなどにより予算規模は昨年度並みとなっています。一般会計の歳入は、主に個人市民税の落ち込みで、市税が0.5%減の93億7,600万円となり、市債の発行が15%※の29億1,430万円となりました。歳出では、人件費が26.2%※の51億700万円、扶助費が17.2%※の33億5,600万円で、公債費を加えた義務的経費が全体の53%※を占めます。投資的経費は、一般廃棄物処理施設整備事業、第一運動公園整備事業、市営住宅整備事業の3つの事業が最終年度となることにより再整備事業費が増加し、さらに、土地開発公社の土地の再取得費もあり27億2,154万円となりました。依然として厳しい財政状況が続くそうです。従って、引き続き行財政改革を徹底して推進しなければなりません。民間委託等の推進については、逗子文化プラザホール、逗子アリーナ及び都市公園有料の公園施設について指定管理者選定に向けた条例改正案が25年度には提案されます。受益者負担の適正化については、逗子アリーナ駐車場と第一運動公園駐車場の有料化について8月から実施することを目途としています。また、昨年12月に審議会に諮問した家庭系ごみ処理の有料化の検討も始まりました。

(※構成比率)

一般会計の財源内訳

(単位:千円)

財源別	平成25年度		平成24年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減	伸率
市税	9,376,001	48.1%	9,424,001	47.5%	△ 48,000	△0.5%
国県支出金	3,220,509	16.5%	3,411,128	17.2%	△ 190,619	△5.6%
地方特例交付金	42,000	0.2%	48,000	0.2%	△ 6,000	△12.5%
地方交付税	1,320,000	6.8%	1,320,000	6.7%	0	0.0%
繰入金	391,000	2.0%	454,398	2.3%	△ 63,398	△14.0%
市債	2,914,300	15.0%	2,915,300	14.7%	△ 1,000	0.0%
その他	2,223,050	11.4%	2,274,977	11.4%	△ 51,927	△ 2.3%
合計	19,486,860	100.0%	19,847,804	100.0%	△ 360,944	△ 1.8%

住宅リフォーム助成制度 25年度は400万円

地域の建設産業は、長引く景気の低迷より、倒産も増加しています。この事業は、良好な住環境の向上と地域経済の活性化に繋がるとして、私も提案していた事業です。24年度から26年度の3カ年の助成制度で、制度概要としては、市内施工業者により20万円を超える住宅リフォーム工事に対して、10%（上限10万円）を助成、対象住宅は市内に所有し、自ら居住している住宅で、個人住宅一棟につき一回限りです。24年度は予算300万円を実施をし、受付からわずか1カ月で予算がなくなりました。対象リフォーム工事基準がありますので、詳しくは経済観光課まで問い合わせ下さい。4月10日から申請受付予定です。

市議会にタブレット端末を導入

逗子市議会が、ペーパーレスによる環境負荷の軽減や会議時間の短縮を目指し、2013年度からタブレット型端末を導入します。各定例会での資料は、A4判の紙で500ページ～1000ページにもなり、新年度予算案や決算案を審議する定例会では、2000枚を超すこともあります。議案や資料、陳情といったデータはサーバーにアップし、インターネット回線を使って資料のやりとりや会議を行う仕組みへと一新します。全国的にも先進的な取り組みです。完全移行によって約50万円の紙代が削減できる見込みです。



第1回定例会での資料

予算特別委員会での審査 費用対効果を検証し、経費の削減を図れ！

第1回定例会で25年度の一般会計及び4特別会計の予算の審査が行われました。予算特別委員会の最終日には、市長、理事者に対して、総括質問をします。私は、総務常任委員会として、総務部、経営企画部、環境都市部、市民協働部、消防等の所管審査をしました。今回指摘した事業の内ひとつを紹介します。放置自転車等対策事業、この事業は、自転車等放置禁止区域（主に駅周辺）に止めている自転車やバイクに対して、長時間止めている場合は、撤去し、保管します。主な業務は、巡視啓発と撤去運搬作業になります。委託事業として、人員4人態勢で月曜日から金曜日の5日間、保管業務（市直営）を合わせて経費が約1,500万円毎年かかっています。また、自転車等の駐輪場（東逗子・神武寺駅周辺）の巡視業務（駐輪場の整理）に同じ委託先で約300万円の経費です。私は、駐輪場の整理は放置自転車等対策事業の巡視啓発撤去運搬作業の仕事でまかなえると考えますし、4人態勢で1日平均5台程度しか、撤去運搬していません。駐車禁止の札は多くの違反車両につけていますが、「いたちごっこ」になっていて、対策により成果がでていないのが現状です。駐輪場の整備等のハードな対策も必要だが、監視員を付けるなどして新たな対策の検討が必要だと考えます。本市の厳しい財政状況の中、市民への行政サービスを低下することなく、限られた予算で如何に効率よく運営が図られるか、費用対効果を検証し、改善できるところは早急に対応するようにしっかりとチェックしていきます。



逗子駅周辺の歩道にずらり



駐車禁止標識の目の前で

皆様の声を聞かせて下さい。
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

御名前

御住所

連絡先

送り先FAX 046-871-3552 TEL 046-871-3526 e-mail: sagisaka@plum.ocn.ne.jp

発行責任者: 匂坂祐二(さぎさかゆうじ) ポスティング ボランティアを募集しています。御協力お願い致します。